

芦別青年会議所、「あしべつフォトウォーク」を開催



一般社団法人芦別青年会議所（大高陽介理事長）は6月25日、市街地を歩いて「お題」と同じ写真を撮影する「あしべつフォトウォーク」を開催し、市内外から親子連れなど50人が参加しました。

これは、市街地を楽しみながら歩くことでその魅力を知ってもらい、

コロナ禍でもできる地域の活性化を目指そうと行われました。

「お題」には洋菓子店や桜の標本木などさまざまなものが設定され、撮影した写真に応じて貰える賞品数が決定します。参加した小学生は「分からないお題もあるけど全部まわりたい」と楽しそうに話していました。

シャーロットタウン市消防署から、友情の証のワッペン寄贈



7月2日、本市と姉妹都市提携を締結している、カナダのプリンスエドワードアイランド州シャーロットタウン市に在住するカワードあゆみさんが芦別消防署を訪れ、シャーロットタウン市消防署のワッペンを荻原市長に手渡しました。

1993年に姉妹都市提携を締結し

た記念に寄贈した芦別消防署の腕章が、シャーロットタウン市消防署に展示されていることから、シャーロットタウン市の消防団員である配偶者に代わり、友情の証としてのワッペンを届けに来たものです。

荻原市長からは返礼の記念品が贈られ、今後の友情を誓い合いました。



芦別消防演習を3年ぶりに実施

7月3日、芦別消防署消防総合庁舎駐車前で、消防職員と各地区の消防団員合わせて135人、車両12台の消防演習が実施されました。

これは市民の防火意識の普及と火災の無い町を築くことを目的とした演習で、3年ぶりの開催となります。

一番街通りでは分列式に先立ち、

芦別みどり幼稚園幼年消防クラブの子どもたちが、新しい法被に身を包み、元気に「火の用心」など大きな声で呼びかけながら行進し、沿道の市民の目を楽しませていました。

演習は消防総合庁舎駐車前で、来賓や市民などが見守る中、観閲や一斉放水が行なわれました。



健夏山笠「^か昇き山」3年ぶりに復活



7月16、17日に実施を予定していた「星の降る里・芦別健夏まつり」は、3年連続の中止が決まりましたが、祭りのメイン行事でもある「健夏山笠」の重さ約1トンの「昇き山」4基を市内4か所で作り、10日から16日まで展示されました。

期間中は夕方から午後9時までラ

イトアップされ、各流では夜警を兼ねて常駐、市民や観光客等に展示趣旨や祭りの目的などを説明しました。

山笠行事は10日の午後5時に蘆別神社で「若松取り」が行われ、16日の最終日は「追い山」の中止の代わりに午後5時59分に振興会役員が各流をまわり「手打ち」を行いました。